

令和4年度 当初予算（案）

# 主な事業の説明書

観光文化スポーツ部

【一般会計】

款	項	目	大	事	業	ページ
7	1	4	21	中里温泉改築事業費		7 - 1
7	1	4	43	大仙市東部エリア観光ビジョン策定事業費		7 - 2
7	1	4	55	観光拠点施設整備事業費		7 - 3
7	1	4		市所有温泉施設管理費		7 - 4
10	5	6	10	文化財保護経費		7 - 5
10	5	6	14	払田柵跡環境整備事業費		7 - 6
10	5	6	17	旧池田氏庭園整備事業費		7 - 7
10	5	6	21	鈴木空如資料保存活用事業費		7 - 8
10	5	6	27	角間川・川のまち歴史交流の杜整備事業費		7 - 9
10	6	2	17	多目的人工芝グラウンド整備事業費		7 - 10
10	6	2	18	仙北健康広場テニスコート増設事業費		7 - 11

【スキー場事業特別会計】

款	項	目	大	事	業	ページ
1	1	1	10	スキー場運営費		7 - 12

# 事 業 説 明 書

7 款 1 項 4 目 21 事業

(施策の大綱)観光の振興

(施策)魅力ある観光地づくり

(基本事業)魅力的な観光地づくりの推進

新規

課所名：観光文化スポーツ部 温泉施設対策室

『事業名』 **中里温泉改築事業費**

【R4年度】 **23,190** 千円 【R3年度】 **0** 千円 【増減額】 **23,190** 千円

※R4年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				<b>23,190</b>

**1. Plan (計画：事業の目的及び目標)**

中里温泉は、昭和50年のオープンから45年以上が経過し、建物及び各設備の経年劣化が進んでいる。また、地域の人口及び当該施設利用者数は年々減少傾向にあるため、コンパクト化及びランニングコストの低コスト化を基本とした適正な規模・機能の施設に改築するとともに、市民の健康増進の拠点として、豊富な湯量を活用しながら持続可能な経営の実現を目的とする。

【目標】：令和6年6月リニューアルオープン

**2. Do (実行：これまでの実績と成果)**

中里温泉は、地域住民の保養施設として地域福祉の増進に貢献しており、春季から秋季は登山客、冬季はスキー客など来訪者の観光拠点としても広く利用されている。建物自体は、就業改善センター（建築年：昭和50年）、南部コミュニティセンター（建築年：昭和52年）、ふるさと館（建築年：平成4年）の3棟から構成され、平成11年に南部コミュニティセンターに温泉機能等を増築している。また、改築にあたっては、令和3年度に改築基本計画を策定し、事業を進めている。

【利用者数の推移】

年度	H28	H29	H30	R1	R2
利用者数(人)	130,427	123,295	114,550	104,931	72,339

**3. Check (評価：問題と課題)**

人口減少や利用状況等を勘案し、施設の規模や経営内容を見直す必要が生じている。

**4. Act (改善：今後の方向性とR4年度事業の概要)**

【今後の方向性】

- ・施設の経年劣化に加え、地域の人口及び利用者数が年々減少傾向にあり、持続可能な経営とするため施設のコンパクト化・ランニングコストの低コスト化を基本とした適正な規模・機能の施設に改築する。
- ・改築にあたっては、利用者が温泉を継続利用できる工程で実施する。
- ・リニューアルオープン後の運営方法について、効果的な運営形態を検討する。

【R4年度事業の概要】

- ①中里温泉改築事業基本・実施設計業務委託料     20,388千円
- ②アスベスト調査業務委託料                             2,750千円
- ③確認申請手数料   52千円
- 事業スケジュール

項目	令和4年度												令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
○本体工事	基本設計・実施設計												工事																							
○開館準備																									引越準備     6月からオープン											
○解体・外構工事	解体設計(実施設計業務内)																								工事											
○温泉の営業	ふるさと館												南部コミュニティセンター(新館)												ふるさと館											

# 事 業 説 明 書

7 款 1 項 4 目 43 事業

(施策の大綱)観光の振興

(施策)魅力ある観光地づくり

(基本事業)魅力的な観光地づくりの推進

新規

課所名：観光文化スポーツ部 観光振興課

『事業名』 大仙市東部エリア観光ビジョン策定事業費

【R4年度】 11,000 千円 【R3年度】 0 千円 【増減額】 11,000 千円

※R4年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,000				

※地域スポーツコミッション経営多角化支援事業補助金（スポーツ庁）

**1. P l a n**（計画：事業の目的及び目標）

本市には、溪谷探勝と登山に適した山岳公園として知られる真木真昼県立自然公園（昭和50年に県立自然公園に指定）があり、県内外の方から数多く利用いただいている。こうした雄大な自然を有している地域を本市の新たな「観光拠点」と位置づけ、自然を活用したアウトドアアクティビティなど体験型重視の新たなコンテンツを開発していくことで、本市への誘客ならびに滞在時間と観光消費の増加を図ることを目的とする。

【目標値】

本市への観光入込客数 1,200千人（令和4年度）

【備考】

本事業の実施にあたり、スポーツ庁所管の「スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業」における「地域スポーツコミッション経営多角化支援事業（上限11,000千円、下限600万円）」を財源とする予定である。

**2. D o**（実行：これまでの実績と成果）

**3. C h e c k**（評価：問題と課題）

本市には国内外へ誇れる素晴らしい観光地が多く存在する一方、そうしたスポットが点在しており観光周遊につながりづらい状況である。そのため、雄大な自然を活用した新たな取り組みと、本市へ滞在していただくための観光拠点の整備が求められている。あわせて、観光拠点の周辺地域及び本市全域へ観光周遊していただくための新たな観光ルートの開発が求められている。

**4. A c t**（改善：今後の方向性とR4年度事業の概要）

【今後の方向性】

令和4年度は公募型プロポーザルを行い、観光ビジョンの策定ならびにアウトドアイベントを開催するための委託事業者を決定する。令和5年度以降は観光ビジョンの策定内容に基づき、アウトドアコンテンツを充実させるための整備を実施していくとともに、観光拠点周辺に点在する地域資源（温泉、歴史・文化、スポーツ、農・食など）を組み合わせつつ、それらを「面」として活用しながら東部エリア全体の観光振興を図る。

【R4年度事業の概要】

令和4年4月 観光ビジョン策定のための公募型プロポーザルの実施  
 5月 委託事業者の決定  
 10月 アウトドアイベントの開催  
 11月 観光ビジョンの策定

【事業費】

事業実施委託：11,000千円（観光ビジョン策定、アウトドアイベントの開催、PR動画の作成）

# 事 業 説 明 書

7 款 1 項 4 目 55 事業

(施策の大綱) 観光の振興

(施策) 魅力ある観光地づくり

(基本事業) 魅力的な観光地づくりの推進

継続

課所名：観光文化スポーツ部 観光振興課

『事業名』 **観光拠点施設整備事業費**

【R4年度】 **6,759 千円** 【R3年度】 **234,345 千円** 【増減額】 **△ 227,586 千円**

※R4年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		<b>2,800</b>		<b>3,959</b>

**1. P l a n** (計画：事業の目的及び目標)

鉄道駅や道の駅は、市内に点在する観光資源同士を結びつける役割を担っており、観光客の利用頻度が極めて高い観光拠点施設であることから、その基盤となる施設の整備を行うことにより、観光客の満足度の底上げと、経済波及効果の拡大を目的とする。

**2. D o** (実行：これまでの実績と成果)

令和2年度には、西口の観光タペストリーの掛替えや東西自由通路へのステーションピアノの設置、東口への大型観光看板の設置を行った。令和3年度は西口下りエスカレーターの設置や観光情報センターインフォメーションホールのリニューアルを行い、観光拠点施設として利便性の向上や機能充実を図っている。

**3. C h e c k** (評価：問題と課題)

- ・令和3年度は、観光情報センターインフォメーションホールのリニューアルを行い、待合機能の整備を行ったが、同じく旅行者や学生が多く利用している1階ふれあい広場についても、人が集い、交流する場としての整備が必要となっている。
- ・駅舎建築から20年以上が経過し、空調設備や昇降機、自動ドアなど経年劣化がみられる設備が複数ある。保守管理業者からも更新を勧められている状況であり、耐用年数の超過による大規模修繕が必要となっている。

**4. A c t** (改善：今後の方向性とR4年度事業の概要)

- ・利用客層の多様化や、社会情勢が変化していることから、人が集い、交流する場である観光情報センター1階ふれあい広場を、風除室や空調の新設、トイレや防犯カメラの改修などにより整備していく。令和4年度は改修のための設計業務を行う。
- ・複数の設備が経年劣化していることから、今後年次計画で修繕していく。
- ・東口大型観光看板やステーションピアノの整備により、観光客の満足度の底上げや観光PR、経済波及効果の拡大を目指す。

■事業内容

No.	事業名称	内容	予算額(千円)
①	大仙市観光情報センター1階ふれあい広場改修工事設計業務	ふれあい広場改修のための基本設計・実施設計を行う。	4,010
②	大仙市観光情報センター防犯カメラ入替工事	設置から20年以上が経過した防犯カメラ13台の入替工事を行う。	2,219
③	グランポールへ市内技術専門校生によるベンチ製作	市内技術専門校生によるベンチを製作し、グランポール内に設置する(森林環境譲与税基金を活用し森林の魅力増進事業費にて原材料を調達)。	-
④	その他	大曲駅東口の大型観光看板の管理やステーションピアノの保守(調律)を実施する。	530
合 計			6,759

# 事 業 説 明 書

7 款 1 項 4 目 事業

(施策の大綱) 観光の振興

(施策) 魅力ある観光地づくり

(基本事業) 魅力的な観光地づくりの推進

継続

課所名：観光文化スポーツ部 温泉施設対策室

『事業名』 市所有温泉施設管理費

【R4年度】 208,535 千円 【R3年度】 187,477 千円 【増減額】 21,058 千円

※R4年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			130,281	78,254

※柵の湯使用料 他

**1. Plan (計画：事業の目的及び目標)**

市民の健康増進施設として適切な維持管理・運営を行い、保養、休養及び交流を促進し、市民の豊かな生活に資する。

【年間利用者目標】 嶽の湯 104,000人、ユメリア 81,250人、さくら荘 27,500人、四季の湯 35,000人  
南外ふるさと館 38,000人、柵の湯 100,000人、中里温泉 70,000人

**2. Do (実行：これまでの実績と成果)**

- ・地域住民を中心に健康増進、交流促進施設としての役割を果たしている。
- ・市と指定管理者による施設設備点検を定期的に行い、補修箇所の早期発見に努めている。

**3. Check (評価：問題と課題)**

- ・地域住民のほか、観光客の休憩・宿泊施設として利用されているが、年々利用者数が減少している。
- ・各施設とも建築から20年以上経過し、建物、源泉及び機械設備の不具合が生じている。
- ・利用者減少による収入減、施設設備の維持管理費の増大により、今後さらに運営が厳しくなると予想される。
- ・利用者数に対して、浴槽等の施設や設備の規模が過大な状況にある。

**4. Act (改善：今後の方向性とR4年度事業の概要)**

【R4年度事業】

施設名	利用者数 (人)		予算額 (千円)	主な事業内容
	R1	R2		
嶽の湯	106,468	88,597	9,992	指定管理料、温水ボイラー熱交換チューブ点検修繕、ビジネスホン設置工事
ユメリア	72,648	65,432	21,905	指定管理料、浄化槽エア配管及び湧水ポンプ修繕、冷温水発生機冷温水ボックス修繕、エレベーター劣化部品交換修繕
さくら荘	30,492	26,212	519	アスベスト調査業務委託
四季の湯 (協和温泉管理費)	44,267	36,259	17,126	指定管理料、給水・給湯配管更新工事
南外ふるさと館	35,409	30,505	16,638	指定管理料、地下タンク廃止及びホームタンク設置工事
市所有温泉施設管理費				柵の湯及び中里温泉の直営運営経費、市温泉施設の緊急を要する工事費用
柵の湯	116,362	92,688	142,355	
中里温泉	104,931	72,339		
合計額			208,535	

サウンディング型市場調査により、温泉施設の利活用等について引き続き募集を行い、これまでに提案のあった省エネ設備導入については、十分に検討した上で、実行に移していく。

【今後の方向性】

令和4年度中に、「温泉施設の今後のあり方について」を策定し、温泉施設の方向性を示し、その方向性を令和6年度の指定管理更新時の募集要項に反映させていく。

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 10 事業

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業) 文化財を活用した地域づくり

継続

課所名：観光文化スポーツ部 文化財課

『事業名』 **文化財保護経費**

【R4年度】 **4,950** 千円 【R3年度】 **4,473** 千円 【増減額】 **477** 千円

※R4年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
<b>500</b>			<b>10</b>	<b>4,440</b>

※書籍等売払収入

1. **Plan** (計画：事業の目的及び目標)

本市の有する伝統行事や民俗資料、地域の歴史資料など、歴史的に価値の高い文化財の保全、整備、活用、調査研究に取り組み、文化財の継承と地域愛護を図るとともに、文化財を活用した新たな地域づくりを推進する。

- 目標：大仙市文化財保存活用地域計画の策定（令和5年3月）

2. **Do** (実行：これまでの実績と成果)

- ・刈和野の大綱引きや角間川盆踊り、各地域のささらなどの無形民俗文化財の保存継承に資する事業に対して補助金を交付し、文化財の保護及び伝統文化の保存継承を図っている。

3. **Check** (評価：問題と課題)

- ・過疎化・少子高齢化等の社会状況の変化を背景に各地域の貴重な文化財の滅失・散逸等の防止が緊急の課題となっている。
- ・このような状況の中で、従来価値付けが明確でなかった未指定を含めた有形・無形の文化財をまちづくりに生かしつつ、文化財継承の担い手を確保し、地域社会総がかりで取り組んでいくことのできる体制づくりを整備することが必要となっている。

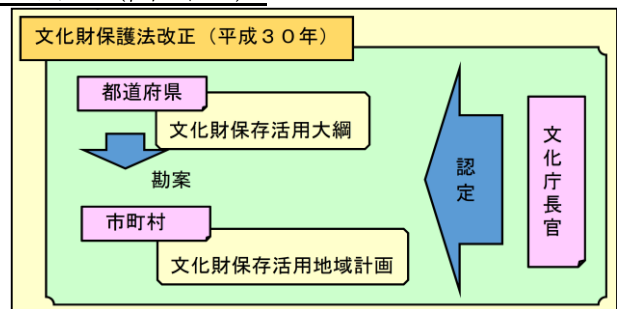
4. **Act** (改善：今後の方向性とR4年度事業の概要)

■R4年度事業の概要

○大仙市文化財保存活用地域計画の策定 **500千円 (国10/10)**

- ・本市において取り組んでいく目標や取組みの具体的な内容を記載した、文化財の保存・活用に関する基本的なアクション・プランを策定する。
- ・まちづくりや観光などの他の行政分野とも連携し、総合的に文化財の保存・活用を進めていくための枠組みを作る。

・計画期間：令和5年度～令和12年度（7年間）



○文化財保存等継承事業補助金 **2,205千円**

- ・文化財保護法、秋田県文化財保護条例及び大仙市文化財保護条例の規定に基づき指定された市内に存在する文化財の保存、継承、調査研究、普及啓発等に資する事業に必要な財政的支援を行うことにより、その適正な保存及び保護を図る。

○その他一般管理費 **2,245千円**

- ・カモシカ保護処理委託、敷地賃借料〔埋文セ1,264千円、池田案内所・道路466千円〕など

■今後の方向性

- ・大仙市文化財保存活用地域計画の策定により、本市が目指す、文化財の保存・活用に関する将来的なビジョンや具体的な事業の実施計画を定め、継続性・一貫性のある文化財の保存・活用を促進する。

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 14 事業

(施策の大綱)芸術、文化の振興

(施策)文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業)文化財を活用した地域づくり

継続

課所名：観光文化スポーツ部 文化財課

『事業名』 **払田柵跡環境整備事業費**

【R4年度】 46,974 千円 【R3年度】 65,463 千円 【増減額】 △ 18,489 千円

※R4年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
21,944		19,700	1,800	3,530

※自治総合センターシンポジウム助成事業助成金

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

史跡内復元建造物等再整備計画（令和2年度策定）に基づき、過去の環境整備事業によって史跡内に復元整備した外柵南門等について、使用木材の長寿命化及び耐震化対策などの再整備を実施し、復元当初の姿に戻すことを目的とする。

- 設定期間：令和3年度～令和9年度
- 目標数値：令和4年度末事業進捗率 約32.8%（全体事業費330,000千円のうち108,251千円）

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

- ・ 昭和57年度から継続して実施している史跡の環境整備によって、県内外から年間約3万～3万5千人（案内所見学者約1万人、史跡公園利用者約2万～2万5千人）が訪れ、総合学習や生涯学習、市民の憩いの場、催事開催、グラウンドゴルフなど多目的に利用されている。  
 ※令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、見学者・利用者が半減している。
- ・ 第3次環境整備計画に基づき、平成24年度～平成25年度には外郭北門の復元整備、平成28年度～平成29年度には北大路等整備工事を行い、主に史跡の北東部における環境整備を実施した。

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ・ 第3次環境整備計画の終期（令和5年度）が近づいているが、他の事業との兼ね合いによって未実施事業が多く残っているため、事業実施期間や内容の見直しを行う必要がある。なお、事業期間の延長（10年間程度）を文化庁と協議中である（内諾あり）。
- ・ 事業が長期に渡っており、第3次環境整備計画の完成前に復元外柵南門など過去に復元整備した建造物等が老朽化し、見学者の安全を確保するため再整備を優先して行う必要が生じている。

4. A c t (改善：今後の方向性とR4年度事業の概要)

上記の問題・課題を解決するため、第3次環境整備計画に基づく事業をいったん休止し、復元外柵南門など復元建造物等の再整備を優先的に行う。また、昭和57年（1982）に史跡の環境整備を開始してから令和4年（2022）で40周年を迎えるため、記念のシンポジウムを開催する。

【令和4年度】

事業内容	事業費	備考
復元外柵南門再整備工事（第2期工事） （工事監理・設計監理含む）	43,843 千円	R3：第1期工事、R4：第2期工事 R5：第3期工事（完成予定）
復元外柵南門周辺環境整備	759 千円	排水フリーム設置盛土工事
払田柵跡環境整備40周年 記念シンポジウム開催経費	1,800 千円	講師謝礼・旅費 ほか
払田柵跡環境整備審議会開催経費 ほか	572 千円	審議会委員報酬・旅費 ほか
合 計	46,974 千円	

【令和5年度以降】

再整備予定箇所\年度	R5	R6	R7	R8	R9
外柵南門	再整備工事 10,500千円				
南大路東建物	調査診断・実施設計 4,000千円	再整備工事 50,000千円			
外郭南門・石畳	地質調査 700千円	実施設計 2,500千円	再整備工事 25,000千円		
外郭西門			実施設計 2,000千円	再整備工事 12,500千円	
政庁東方建物群				実施設計 5,000千円	再整備工事 12,500千円



# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 17 事業

(施策の大綱)芸術・文化の振興

(施策)文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業)文化財を活用した地域づくり

継続

課所名：観光文化スポーツ部 文化財課

## 『事業名』 旧池田氏庭園整備事業費

【R4年度】 17,746 千円 【R3年度】 12,536 千円 【増減額】 5,210 千円

※R4年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,807		7,300		1,639

### 1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

名勝庭園の景観を維持しながら、全体計画である保存整備管理計画に基づき保存整備を行うと共に、文化財観光施設としての見学や視察、総合・生涯学習、各種イベント等の活用を目的として、年次計画で保存整備と活用整備事業を実施する。

●計画期間：平成16年～令和15年度（30年間）

●目標数値：令和3年度末事業進捗率 約75.36%（全体事業費1,000,000千円のうち753,557千円）

### 2. Do (実行：これまでの実績と成果)

全体計画に基づき、これまでの主な整備として、平成16年度から以下のとおり保存整備と活用整備を実施している。

#### 【主な整備実績（抜粋）】

年度	保存整備	年度	活用整備
H16～18	池泉浚渫護岸修理、不要樹木伐採処理	H18～24	園路整備・案内板整備等
H18～22	洋館修復工事		
H24	メインアプローチ修景、「中の門」復原		
H23～26	米蔵修復工事	H25～26	便益施設整備・受付棟整備
H26～30	味噌蔵修復工事	H27	バリアフリー等の公開用園路整備

#### 【平成22年以降の来園者数推移】

(単位：人)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	延べ合計
来園者数	10,635	23,983	21,931	23,634	22,783	16,732	11,947	12,781	14,075	10,915	5,429 <sup>※</sup>	9,414	184,259

※新型コロナウイルス感染防止対策により大幅減（前年比約5割減）

### 3. Check (評価：問題と課題)

- ・全体計画である保存整備管理計画の実施期間が30年と長く、既に整備が終了した施設の維持管理及び修繕（洋館等）が必要になっている。
- ・建造物の修復工事を主に実施しており、日本庭園部分の本格的な保存修復が必要になっている。
- ・年々来園者が減少している。特に令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、一般公開の開始日から1ヶ月間の休園措置を取り、様々な行事やイベント等も中止になった影響で来園者数が大幅に減少した。今後、文化財観光施設としての積極的な活用と来園者数の増加を目指す。

### 4. Act (改善：今後の方向性とR4年度事業の概要)

#### 【令和4年度事業の概要】

日本庭園部分の修復工事について、令和2年度に策定した修復基本計画に沿って年次計画で修復工事を進めていく。令和4年度は、主に本家庭園の保存修復工事（1/2年目）を実施する。

事業内容	事業費(千円)	備考
旧池田氏庭園保存修復事業 本家庭園修復工事（R4年度施工分）	13,856	修復工事 12,254千円、工事監理 1,602千円 （植栽整備工、水路修理工、板石修理工）
旧池田氏庭園保存修復事業 本家庭園修復工事（R5年度施工分）	2,493	実施設計業務委託（R5年度施工分）
旧池田家住宅洋館 竣工100年記念式典関連経費	950	基調講演・パネルディスカッション （報償費、旅費、看板製作費、印刷費ほか）
旧池田氏庭園保存整備審議会 開催経費ほか	447	審議会 年1回開催 （委員報酬、旅費、消耗品費ほか）
合計	17,746	（国庫補助事業：補助率50%）

#### 【今後の方向性】

令和6年度まで本家と分家庭園の修復工事を実施し、令和7年度から内蔵3棟の外装修復を実施する予定。また、SNSやホームページ・ツイッター等による情報発信を継続し、旅行関係企業との連携を図りながら文化財観光施設としての積極的な活用と来園者数の増加を目指していく。

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 21 事業

(施策の大綱)芸術、文化の振興

(施策)文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業)文化財の保護の仕組みづくり

新規

課所名：観光文化スポーツ部 文化財課

『事業名』 **鈴木空如資料保存活用事業費**

【R4年度】 **3,789 千円** 【R3年度】 **0 千円** 【増減額】 **3,789 千円**

※R4年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				<b>3,789</b>

**1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)**

鈴木空如の画業を調査研究し、その調査結果に基づく画業や人物顕彰、作品修復等を通じて、市民の連帯感の醸成と文化財を活用したまちづくりを目指す。

●鈴木空如資料の整備と活用

鈴木空如筆法隆寺金堂壁画（平成30年に箱根鈴木家から寄贈を受けた12点）の表装実施  
 作品群の公開活用：年1回の企画展、およそ3年毎の特別展示の実施

**2. D o (実行：これまでの実績と成果)**

平成23～26年度にかけて下記のとおり第3作目の法隆寺金堂壁画（市所有）の表装修復を実施した。このことによって3年ごとの特別展示が実施できるようになり、展示会には多くの市民から訪れていただいている。また、東京国立博物館や東北歴史博物館から展示のため資料借用願いをいただくなど、注目を浴びている。

年度	内容	金額（円）
平成23年度	小壁4枚（2・3・4・5号）表装修復	5,796,000
平成24年度	小壁4枚（7・8・11・12号）表装修復	5,796,000
平成25年度	大壁2枚（1・6号）表装修復	4,284,000
平成26年度	大壁2枚（9・10号）表装修復	4,406,400
合計	大壁4枚・小壁8枚	20,282,400

**3. C h e c k (評価：問題と課題)**

・作品群取り扱いのための専門知識をもった職員の育成、必要な研修の受講

**4. A c t (改善：今後の方向性とR4年度事業の概要)**

鈴木空如筆法隆寺金堂壁画の第1作目の表装を、年次計画によって実施する。当該作品は裏打ちが施されているものの展示には不向きであり、作品保存の観点からも表装が必要である。

表装完了後は、第3作目とともに展示公開し、鈴木空如の画業を市民に鑑賞していただきたい。

また、併せて他の作品群の学術調査も継続して実施していきたい。

年度	内容	金額（円）
令和4年度	表装用材料確保	3,788,400
令和5年度	小壁4枚（2・3・4・5号）表装	4,598,000
令和6年度	小壁4枚（7・8・11・12号）表装	4,598,000
令和7年度	大壁2枚（1・6号）表装	3,366,000
令和8年度	大壁2枚（9・10号）表装	3,366,000
合計	大壁4枚・小壁8枚	19,716,400

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 27 事業

(施策の大綱) 芸術・文化の振興

(施策) 文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業) 文化財を活用した地域づくり

継続

課所名：観光文化スポーツ部 文化財課

『事業名』 角間川・川のまち歴史交流の杜整備事業費

【R4年度】 8,358 千円 【R3年度】 15,144 千円 【増減額】 △ 6,786 千円

※R4年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			1,000	7,358

※教育文化基金繰入金

### 1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

東北地方を代表する雄物川舟運の歴史を伝える「角間川の旧家群」を活用し、地域の歴史と交流をキーワードとした地域活性化拠点エリアを整備する。

国登録有形文化財の旧本郷家住宅をはじめとした秀逸な近代建造物群を周知し、エリア内へ案内所等の便益施設を計画的に整備しながら、地域文化向上と広域的な文化財活用型観光交流を推進する。

- 目標：年間来館者数3,000人（美郷町指定文化財「坂本東嶽邸」と同等）

### 2. Do (実行：これまでの実績と成果)

平成29年度に三家の敷地・建造物の公有化を完了した。平成30年度には旧荒川家住宅を大規模改修し、案内所・トイレ機能を完備した便益施設が完成した。令和元年度～令和3年度は、屋根・門・塀の修繕や外構整備を実施し、安全対策を行った。また、令和3年度には本郷家に消防設備を設置した。

年度	H28～R1	R2	R3
実績	三家：土地・建物公有化等 本郷家：屋根・電気等修繕 北島家：屋根改修（1期） 荒川家：案内所・トイレ整備 外構：舗装、門・塀等修繕	本郷家：屋根塗装修繕（1期） 北島家：屋根改修（1期） 建造物：塀修繕等	本郷家：消防設備設置工事 屋根塗装修繕（2期） 外構：アスファルト舗装（1期）
成果	R1来館者3,759人（170日間）	来館者1,388人（162日間）	来館者2,215人（172日間）

### 3. Check (評価：問題と課題)

- ・建造物群の老朽化が進んでおり、安全確保の観点から早急に改修する必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により来館者数が減少していることから、観光資源としての魅力をさらに向上させ、観光物産協会等と連携して様々な活用事業を展開する必要がある。

### 4. Act (改善：今後の方向性とR4年度事業の概要)

【今後の方向性】

- ・事業期間：【前期計画】平成28～令和2年度・・・保存整備・公開準備（主にハード整備）  
【後期計画】令和3～令和7年度・・・公開と組織整備（主にソフト事業）
- ・総事業費：245,000千円

【令和4年度事業概要】

（単位：千円）

項目	実施内容	事業費
建造物改修	本郷家洋館廊下修繕、本郷家文庫蔵霧除修繕、北島家修繕	255
展示整備・調査	展示製作、市名勝指定に向けた調査	223
外構整備	荒川家外構整備工事（2期）	1,298
管理費	維持管理、公開管理等	6,582
	合計	8,358

【令和5年度以降事業概要】

（単位：千円）

年度	項目	R5年度	R6～R7年度
主な整備 事業内容	建造物	北島家屋根改修ほか 8,325	公開体制の組織整備 7,937
	展示・調査	説明板製作、調査 200	老朽箇所修繕
	合計	8,525	7,937

# 事 業 説 明 書

10 款 6 項 2 目 17 事業

(施策の大綱) スポーツの推進

(施策) スポーツ機会の拡大と環境の整備

(基本事業) スポーツ施設の整備充実

継続

課所名：観光文化スポーツ部 スポーツ振興課

『事業名』 **多目的人工芝グラウンド整備事業費**

【R4年度】 **570,377** 千円 【R3年度】 **42,051** 千円 【増減額】 **528,326** 千円

※R4年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		<b>541,400</b>		<b>28,977</b>

**1. Plan (計画：事業の目的及び目標)**

少子高齢化や人口流出などの課題を抱える中、老若男女が集い様々なスポーツを行える環境を整備することにより、本市の活性化や魅力的なまちづくり、市民の健康増進の場となる多目的人工芝グラウンドの整備事業を推進する。

**2. Do (実行：これまでの実績と成果)**

多目的人工芝グラウンド候補地検討委員会を設置し、市内全地域を対象に、利便性、緊急車両の到着時間など様々な項目を加味した候補地選定を行い、仙北ふれあい体育館横に決定となった。  
 令和2年度には地形測量業務委託、不動産鑑定業務委託を実施し完了した。  
 令和3年度は、地権者説明会を行い、事業実施について了承を得て10月に用地取得を完了し、年度内に入札を行い工事発注及び工事契約を予定している。  
 令和4年度は、土木・電気設備・機械設備・建築の各種工事の実施を予定しており、令和5年夏からの供用開始を目指し事業を推進している。

**3. Check (評価：問題と課題)**

建築物価の高騰により事業費が過大となっているが、人工芝などの競技を行う部分や、施設の根幹の品質は落とさずに、付帯設備で過大となっている部分を精査し事業費の抑制を図る必要がある。

**4. Act (改善：今後の方向性とR4年度事業の概要)**

【多目的人工芝グラウンドの概要】

- ・場所：大仙市堀見内下田茂木地内
- ・面積：29,140㎡
- ・設備：多目的人工芝グラウンド、管理棟、ナイター設備
- ・用途：サッカーや野球、グラウンド・ゴルフのほか各種スポーツ大会、イベントの開催

【事業日程】

項目	令和3年度			令和4年度												令和5年度						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7			
○管理棟建築工事	入札	契約			実施設計		入札	契約	建築工事												供用開始	
○土木工事	入札	契約		各種工事																		
○機械設備工事		入札	契約																			
○電気設備工事		入札	契約																			

【予算の概要】

令和3年度から継続費を設定している各種工事の工事請負費や管理棟建築工事の実実施設計業務委託料、建築工事着工に伴う申請手数料等の予算を計上する。

(単位：千円)

継続費	総額	年割額			備考
		R3年度	R4年度	R5年度	
○工事請負費 (土木)	855,512	85,552	<b>513,307</b>	256,653	路盤舗装、人工芝等
○工事請負費 (機械設備)	19,789	0	<b>11,874</b>	7,915	機械設備、給排水工事
○工事請負費 (電気設備)	136,692	0	<b>41,008</b>	95,684	ナイター設備等
合計	1,011,993	85,552	<b>566,189</b>	360,252	

債務負担行為	限度額	期間			備考
		R3年度	R4年度	R5年度	
○委託料	3,707	0	<b>3,707</b>		管理棟建築工事实施設計

内容	予算額	備考
○役務費 (手数料)	<b>481</b>	建築確認申請、構造計算、省エネ適合判定

【今後の方向性】 令和5年7月からの供用開始に向け、工事の進捗状況を適宜確認し事業を推進する。

# 事 業 説 明 書

10 款 6 項 2 目 18 事業

(施策の大綱) スポーツの推進

(施策) スポーツ機会の拡大と環境の整備

(基本事業) スポーツ施設の整備充実

継続

課所名：観光文化スポーツ部 スポーツ振興課

『事業名』 仙北健康広場テニスコート増設事業費

【R4年度】 170,132 千円 【R3年度】 0 千円 【増減額】 170,132 千円

※R4年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		160,300		9,832

**1. Plan (計画：事業の目的及び目標)**

仙北健康広場テニスコートは、平成元年4月の共用開始以来32年が経過しており、コートや設備の老朽化が進んでいる。また、本テニスコートはクレイコート（土のコート）のため、雨天後に水たまりができたり、乾燥時には土ぼこりが舞ったりと、利用環境に支障をきたしている。

本事業により、コートを人工芝に改修するとともに、3面から4面にコートを増設することで、利用環境の充実や各種大会の開催による交流人口の増加を目指す。

**2. Do (実行：これまでの実績と成果)**

事業費の効率化を図るため、実施設計業務委託は多目的人工芝グラウンド整備事業と合わせて実施した。競技団体とも協議を重ね、利用者のニーズを反映した事業内容となっている。

**3. Check (評価：問題と課題)**

建築物価の高騰により、事業費の拡大が懸念されるが、利用者のニーズを反映し、各設備内容を十分に精査して事業費の抑制を図っていく。

**4. Act (改善：今後の方向性とR4年度事業の概要)**

【仙北健康広場テニスコートの概要】

- ・場所：大仙市堀見内字元田茂木地内

	改修前	改修後
供用開始	平成元年4月	令和5年4月
面積	2,592㎡	2,953㎡
設備	クレイコート3面	人工芝コート4面、ナイター設備

【事業日程】

項目	令和3年度			令和4年度												令和5年度			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
○土木工事	入札	契約		各種工事												供用開始			
○電気設備工事		入札	契約																

【予算の概要】

令和3年度から継続費を設定している工事請負費の他、令和5年4月からの供用開始に向け、施設の利用に必要な備品購入費を計上する。

(単位：千円)

継続費	総額	年割額		備考
		R3年度	R4年度	
○工事請負費（土木）	133,793	13,380	<b>120,413</b>	テニスコート増設工事
○工事請負費（電気設備）	48,386	0	<b>48,386</b>	ナイター設備等
合計	182,179	13,380	<b>168,799</b>	

内容	予算額	備考
○備品購入費	<b>1,333</b>	ネット、審判台、スコアボード、整備用ブラシ、コートナシバー

【今後の方向性】 令和5年4月からの供用開始に向け、工事の進捗状況を適宜確認し事業を推進する。

# 事 業 説 明 書

(スキー場事業特別会計) 1 款 1 項 1 目 10 事業

(施策の大綱) スポーツの推進

(施策) スポーツ機会の拡大と環境の整備

(基本事業) スポーツ施設の整備充実

継続

課所名：観光文化スポーツ部 スポーツ振興課

『事業名』 **スキー場運営費**

【R4年度】 **40,552 千円** 【R3年度】 **33,361 千円** 【増減額】 **7,191 千円**

※R4年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			<b>1,740</b>	<b>38,812</b>

※公共スポーツ施設等活性化事業助成金ほか

**1. Plan (計画：事業の目的及び目標)**

市営スキー場を適切に管理運営し環境を整備することで、誰もがライフスタイルに応じて気軽に楽しめる生涯スポーツの場を提供する。

地域が持つ豊かな資源や自然環境を最大限に活用し、地域経済の活性化や冬季スポーツの充実、市民の健康増進を図る。

**2. Do (実行：これまでの実績と成果)**

■スキー場別利用者数 (単位：人) ※カッコ内はリフト輸送人員の県内順位 (大仙市順位/県内スキー場数)

年度	大曲	協和	大台	合計
R2	9,506 (12/14)	13,593 (7/14)	27,021 (3/14)	50,120
R1	0 (12/14)	0 (12/14)	2,017 (5/14)	2,017
H30	9,807 (12/15)	25,437 (4/15)	21,705 (5/15)	56,949

※令和元年度は降雪不足により、大台スキー場が5日間の営業のみ、大曲・協和スキー場に至っては全日営業ができず、全スキー場が1月末で営業を終了していることにより大幅に利用者数が減少している。

■スキー場別修繕費、工事費、備品購入費実績 (単位：件、千円)

年度	大曲		協和		大台		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
R2	1	1,925	2	3,743	1	990	4	6,658
R1	3	7,517	3	5,787	3	2,067	9	15,371
H30	3	5,747	7	36,829	4	10,541	14	53,117

**3. Check (評価：問題と課題)**

- ・現在各スキー場は指定管理者が管理・運営にあっているが、積雪不足等の影響による営業日数不足が毎年懸念されている。
- ・リフト等の施設の老朽化が進んでいるため、運営に当たっては常に安全安心を最優先に考え、事故や災害等の緊急時には迅速かつ適切な対応ができる体制を整え、健全なスキー場運営を目指す。

**4. Act (改善：今後の方向性とR4年度事業の概要)**

各スキー場では、指定管理者による独自のイベントや教室の開催など様々な企画を通して集客に努めており、民間のノウハウを活かした効率の良い運営に取り組んでいる。

■令和4年度 各スキー場事業費 (単位：千円)

スキー場名	委託料 (指定管理料等)	使用料 (圧雪車リース等)	保険料 (建物共済等)	工事請負費	備品購入費	合計
大曲スキー場	8,877	464	25	-	1,720	11,086
協和スキー場	3,850	11,695	60	6,232	-	21,837
大台スキー場	7,372	196	61	-	-	7,629
計	20,099	12,355	146	6,232	1,720	40,552

指定管理期間：令和3年度～令和8年度 (3スキー場同)

■主な事業内容

大曲： (備品購入費) 券売機購入 1,720千円

※財源：公共スポーツ施設等活性化事業助成金 (システム整備事業)

助成率は助成対象経費の100%以下

協和： (工事請負費) スキーハウステラス改修工事 1,128千円

第2ペアリフト索受装置部品交換工事 5,104千円